＜様式１０－１＞

令和4（2022）年度　児童館事業年間活動報告書

山階児童館

		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
子ども育成	基本活動	ecoクラブ	27			122								122	夏場はゴーヤとひょうたんのグリーンカーテンづくりの追肥や水やり作業、通年でペットボトルキャップの回収をする。	登録している子どもたちは、積極的に活動に参加し、eco活動ができた。
		将棋クラブ	12		39	5	34							78	駒の並べ方や動き方を覚えながら、友だちと対戦する。	昨年から引き続きの子どもたちも多く、スムーズにおこなえた。しかし、対局するメンバーが固定化されていた。
		きりえクラブ	12		38	12	14							64	2年生以上を対象としたきりえの教室。デザインカッターを使用して、絵を切り抜いていく。	自分たちの作品を丁寧に作ることができた。また継続して作っていく力もついたと感じる。
		ダンスクラブ	12	5	27	36				9			17	94	講師をお招きし、J-popのダンスを教えてもらう。	コロナ禍で休みの時もあったが、1曲ダンスを完成し、保護者に披露することができた。体を動かすクラブとして人気だったが、講師の都合で今年度で終了となる。
		中高生企画	10						12					12	月1回開催。参加する中高生で何して遊ぶかを決めて、遊ぶ。	開催していたが、参加者を多く集めることができなかった。広報もだが、夕方に中高生を受け入れる体制づくりが課題。
		アイロンビーズ工作	1		4	5	5							14	アイロンビーズで自分だけの作品を作ってキーホルダーにする。	自分の作りたいものを作ることができて満足していた。感染対策のため、一人ひとりを用意したが時間を要した。スムーズにできる方法を考えたい。
		プレゼント作り	3		19	14	8	1		2				44	5月は母の日のプレゼント作りでデコパージュ・石けんを作る。６月は父の日のプレゼント作りでプラバンキーホルダーを作る。9月は敬老の日のプレゼント作りで手形・足形アートをする。	５月・６月・9月ともに１年生でも簡単に満足のいく作品をつくることができていた。
		おりがみクラブ	21	5	9	66	12	5						97	基本的な折り方を教えながら、季節の作品を作って山科駅ラクト地下通路に掲示する。	回数を重ねるごとに、折り図を見て自分たちで折って作品をつくることができるようになっていた。
		一輪車であそぼう	15		47	115	10	14		3			10	199	遊戯室で14時～16時まで一輪車を楽しむ。	室内でするため、初心者の人も参加しやすかった。また定期的に開催したため、1年間で乗れるようになった子どもたちも多かった。
		七夕飾り作り	5		1	50							1	52	季節の工作として、おりがみやぬりえで七夕の飾りを作る。	おりがみや工作が好きな人がうちこめる取組であった。平日のみの開催もあって、高学年が放課後やる時間がなかった。
		夏のお楽しみ企画会議	3		1	6								7	子どもたちが主体的に企画する「お楽しみ企画」を立案、実行する会議。	3年生以上で回数を重ねるごとに、「みんなで楽しめるもの」など自分たちだけでなく、まわりの人たちのために企画を考えられるようになった。
		夏のお楽しみ企画「風鈴づくり」	2		2	9	1							12	お楽しみ企画会議で決まった風鈴づくり。ペットボトルを使って作る。	お楽しみ企画のスタッフは準備や当日の補助までやってくれていた。
		秋・冬のお楽しみ企画スタッフ会議	4			15								15	子どもたちが主体的に企画する「お楽しみ企画」を立案、実行する会議。	夏のお楽しみ企画会議を経て、少しずつ進行などを子どもたちのみでできるようになった。
		ハロウィンリースづくり	7	19	13	42	1			19				94	児童館でも持ち帰って家でもリースを作ることができるキットを用意する。	持ち帰っての工作も可能なため、乳幼児親子さんや自由来館の子どもたちも気軽に参加する取組となった。
		干支の貼り絵づくり	10		9	67	2	1						79	新しい年を迎えるにあたって、一人一枚干支の貼り絵を作って持ち帰る。日ごろお世話に地域の皆さんへ向けて干支の貼り絵を作成し、手渡す。	地域の先輩へ、とお世話になった方を思い浮かべて丁寧に作る姿が多くみられた。直接手渡し喜んでもらうことで、子どもたちも喜んでいた。

機能		秋のお楽しみ企画「タイムカプセル」	1		7	3								10	お楽しみ企画会議で決まったタイムカプセルをする。	自分ひとりの工作と違い、みんなで協力し合ってとりくみ、楽しむことができた。
		冬のお楽しみ企画「ランタン作り」	1		14	2	2							18	お楽しみ企画会議で決まった牛乳パックでランタン作りをする。	全員が満足のいく作品ができた。またお楽しみ企画の子どもスタッフが準備やと当日の補助をするところまでできた。
		クリスマス工作	1		6	7	3							16	紙でクリスマスツリーを作る。	自分だけのクリスマスツリーを作ることができ、満足度が高かった。
		お正月遊び	2		7	17							1	25	羽根つきやカルタなどお正月にちなんだ遊びをする。	お正月遊びを知らない子どもも多く、楽しみながら知ってもらういい機会になった。
		けん玉教室	1		8	1	1			2			1	13	地域のけん玉名人をお招きし、けん玉名人との交流や日本けん玉協会公式の検定をする。	地域のけん玉名人や参加する大人ともけん玉を通して、交流する機会となった。また日本けん玉協会公式の検定を受ける貴重な機会となった。
		春のお楽しみ企画会議	4		1	25								26	子どもたちが主体的に企画する「お楽しみ企画」を立案、実行する会議。	夏、秋、冬のお楽しみ企画会議を経て、現3年生のメンバーがメインとして進行し、新3年生になる児童とともに作り上げる企画となった。
		バレンタイン工作	1		12	4	2							18	フェルトとビーズを使って、ケーキのストラップを作る。	1年生でも簡単に作ることができていた。しかし、ボンドが乾くのに時間がかかり時間がおしてしまう。
		春のお楽しみ企画「たからさがし」	1		4	24	1							29	お楽しみ企画会議で決まった宝探しをする。一つの部屋でたからものを隠し、見つける。	平日開催のため、子どもたち主体のお楽しみ企画をより多くの人に知ってもらう機会となった。しかし、行事が土曜日開催が多かったため混乱する参加者もいたため、広報で工夫が必要だった。
		合　　計	156	29	268	647	96	21	12	35	0	0	30	1138		
	推進活動															
		合　　計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	子ども育成機能　合　計		156	29	268	647	96	21	12	35	0	0	30	1138		

＊注　基本活動は，指針に基づき（２）遊びの教室活動（３）行事活動（４）クラブ活動（５）地域間交流促進活動（６）障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進（７）思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は，指針に基づき（９）地域を知る活動（１０）移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は，指定児童館のみ別途報告すること。

令和4年（ 2022 ）年度　児童館事業年間活動報告書　（ 山階 ）児童館

		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
子ども家庭支援活動	基本活動	くまさんクラブ	39	355						319	2			676	１年間登録制。様々な取り組みを通して親と子の絆を深め、親同士子ども同士の仲間作りを支援する。	くまさんの登録数は年々少なくなっているが、登録者と丁寧な関わりをもつこと、例年よりも内容を充実することができた。内容は家ではできない事を取組で設定し、親子で一緒に楽しむ姿がみられた。
		親子リトミック	12	18						16			4	38	リトミック教室・音楽教室の講師によるリトミック教室。親子でリズム遊びや音楽遊びを楽しむ。	参加した親子は音楽遊びを楽しみ、子どもの成長を実感している。
		おもちゃのチャチャチャ	36	335						299	2			636	おもちゃを用意しておき、自由に遊ぶ。終了10分前から一斉に片づけをして体操をする。	例年通り、いつ来てもいつ帰ってもよい自由に遊べることが好評だった。乳児さんの利用も増え、２才以上の子どもたちと安全に遊べる空間づくりが課題。
		ちびくまちゃん	35	341					13	301			28	683	乳児親子対象。自由あそびの合間にふれあいあそびや簡単な工作、読み聞かせ、体重測定が出来る日を設定。	児童館利用の入り口として定着している。児童館デビューの方も多く、なごやかな雰囲気でママ友を作られる方が多かった。リピーターが少なかった。
		ヨガ教室	12	17						25			14	56	託児付きの母向けヨガ教室。申込制。	託児があるのが助かるという声があり、保護者のリフレッシュにつながっている。
		アタッチメント・ベビーマッサージ	12	18						19			10	47	ベビーオイルを使って、ベビーマッサージをする。また講師の方よりアタッチメントのお話を聞ける。	乳児の参加が多く、児童館の初めての利用につながっている。
		アイロンビーズ工作	1	19						16				35	アイロンビーズのキーホルダーを一人一個つくる。	土曜日開催のため、普段幼稚園・保育園に通っている親子の参加があった。
		くまさんクラブ当番活動話し合い	8	10						17				27	くまさんクラブの登録者で、役割分担や行事のことについて話し合う。	職員と登録者で一緒にクラブを創りあげる雰囲気作りができた。
		遊戯室開放	2												遊戯室を乳幼児親子だけの利用とし、遊具を自由に使って遊んでもらう。遊びに来た小学生以上の自由来館児は遊戯室開放について説明し育成室で過ごしてもらう。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。
		ペーパークイリング講座	1	6						7				13	保護者がペーパークイリングの工作を楽しむ。	本格的な工作をする機会があまりなく、貴重な機会だったとの声がアンケートから多かった。
		人形劇サークルムクムク公演会	1	12						11			3	26	人形劇サークルムクムクさんによる人形劇公演。はらぺこあおむし他、乳幼児向けの内容で実施。	人形劇とふれあい遊び・手遊びがあり楽しんでいた。お話の世界に触れる良い機会となった。
		絵本の楽しみ方	1	17						17			1	35	えほん館代表花田睦子氏による乳幼児親子向けの講演。	絵本を通して、子どもも保護者も一緒に楽しむことができた。
		缶バッジ工作	1	18						17			1	36	缶バッジマシーンを使い、子どもの写真を缶バッジにする。	子どもの写真を缶バッジにすることで、思い出を形にすることができ満足度が高かった。
		合計	161	1166	0	0	0	0	13	1064	4	0	61	2308		

(3)子育て家庭相談・援助活動

子どもの年齢	件数	受理及び相談経路	件数	相談内容	件数	つないだ機関等	件数
乳児	10	児童館にて直接受理	62	健全育成問題		児童相談所	
幼児	20	児童相談所		家庭養育問題	1	保健所	
小１～３年（自由来館）	6	保健所		成長・発達問題	60	子ども支援センター	5
小１～３年（学童）	25	子ども支援センター		教育問題		幼稚園・保育園	
小４～６年（自由来館）	1	主任児童委員		非行・問題行動	1	小学校	2
小４～６年（学童）		その他		その他		中学校	
中学生		{ }		{ }		総合支援学校	
高校生						その他 { }	

			件数　計	62	－	62		－	62	－	7

			グループ名	構成人数	活　動　内　容	育成・支援内容	成果と課題
		(4)子育てグループを育成・支援する活動	安朱ティーカップサロン	12人	安朱学区の自治会館で地域の方が乳幼児親子を対象として取組の一部として移動児童館として実施。	乳幼児向けに絵本の読み聞かせや簡単な工作をする。	安朱学区の地域の方に児童館の活動の様子を知ってもらうことができた。新たな児童館利用にもつながっている。
			山階ホッとサロン	12人	山階学区の主任児童委員と協力してじゃがいも掘り体験とさつまいも掘り体験を実施している。	企画内容の相談・広報や参加者募集と受付、当日の企画運営のサポートをする。	じゃがいも・さつまいも掘りは参加者にとても喜ばれている。次年度以降も継続して定期的な取組を実施できるよう支援していく。

			活動名	実施回数	活　動　内　容	成　果　と　課　題
	推進活動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券の引き換え	随時	新生児向けごみ袋の引き換えを児童館にて行う	引き換えで児童館を初めて知りその後利用に繋がることも多いので今後ともうまくＰＲしていきたい。

※注　基本活動は，指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動　②乳幼児の広場活動]（２）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

令和4（ 2022 ）年度　児童館事業年間活動報告書　（ 山階 ）児童館

地域福祉促進機能

基本活動

	活動名	実施回数	主催	参加人数 乳幼児	小1～3年 自由来館	小1～3年 学童クラブ	小4～6年 自由来館	小4～6年 学童クラブ	中高生	大人	合計	連携団体	成果と課題
(1)地域住民との交流を促進する活動	山階学区子育てネットワーク連絡会会議	3	山階児童館							22	22	山階自治連・山階学区社協・山科少年補導協議会山階支部・山階民生児童委員協議会・山階小学校・山科青少年活動センター・山科幼稚園	昨年度と比較し全3回実施ができ、改めて地域で子どもたちを見守っていく組織づくりができた。
	安朱ティーカップサロン	3	安朱民生児童委員協議会	24						25	49	安朱社会福祉協議会	安朱学区の子育て情報を共有することができた。
	あそぼらんど会議	1	山階児童館							6	6	山科区社会福祉協議会、山科老人デイサービスセンター	夏の乳幼児親子の居場所づくりについて話し合うことができた。開催自体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。
	山階ホッとサロン	2	山階学区民生児童委員協議会	33						31	64		山階学区の民生さんと乳幼児保護者との交流の機会となった。
	べる活動	3	山科青少年活動センター						25		25		ボランティアという形で中高生との活動ができた。
	やんちゃワールド2022	1	・第4ブロック施設長会 ・第4ブロックやんちゃワールド実行委員会		5	2	1	1			9		久しぶりの開催で、あまりできていなかった館外活動の機会になった。
	フードドライブ	6	京都市児童館学童連盟							13	13		児童館を利用している方が積極的に持ってきてくださった。
	安朱放課後まなび「干支の貼り絵づくり」連携	1	安朱小学校放課後まなび教室		14		2				16		学童クラブに登録していない安朱学区の小学生と触れ合うことができた。
	山階学区子育てネットワーク連絡会　研修	1	山階児童館							9	9	子どもはぐくみ室・山階自治連・山階学区社協・山科少年補導協議会山階支部・山階民生児童委員協議会・山階小学校・山科青少年活動センター・山科幼稚園	地域の方々と山階学区の子育ての現状について考えるいい機会となった。
	合計	21	ー	57	19	2	3	1	25	106	213		

	活動内容	活動人数 中高生	大学生	大人	合計	成果と課題
(2)ボランティア活動の推進	べる活動	25			25	中高生がボランティアとして児童館に関わってもらうことができた。
	日常活動へのボランティア			278	278	あそびボランティアとして、乳幼児や小学生と遊ぶ
	山階学区民生児童委員の行事への参加			4	4	ヨガ教室の保育などをお手伝いいただく
	合計	25	0	282	307	

	連携団体等	連携内容	成果と課題
(3)地域との連携を促進する活動	山階学区民生児童委員協議会	・幼児クラブや子育て支援活動のお手伝いをしていただいている。	・引き続き託児保育の協力など連携をしていく。
	山階学区自治連合会	・毎月のポスターを地域の掲示板に掲示していただいている。	・回覧を見ての問い合わせもあるので次年度以降も協力を依頼する。
	安朱学区自治連合会	・毎月のおたよりを地域回覧していただいている。	
	山階小学校・安朱小学校	・児童館だよりの全校配布、ポスターの掲示 ・教務主任、学級担任との懇談	・おたよりの配布や児童の様子の情報交換など日常的にやり取りしている。今後も継続して必要に応じた連携を図っていく。
	山科子どもはぐくみ室	・おたよりや情報の交換	・はぐくみだよりへの情報の掲載などにより、利用につながっている。
	山科区社会福祉協議会	・おたよりや情報の交換	・気になる家庭についての相談等できる関係が築けている。
	山科警察署	・職員向けの研修の実施	・今年度は職員研修として、不審者対策を実践で教えていただく。
	学童クラブ保護者会	・定例役員会への職員の参加 ・保護者会主催行事・交流会への職員の参加	・館長、厚生員が出席することで役員会との意思疎通を図り、活動を支援した。 ・保護者同士、保護者と職員との関係づくりの場となっている。交流会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。
	山科幼稚園	・ステーションだよりに情報を掲載。	・お互いのおたよりを交換している。
	山科図書館	・おたよりの交換	
	児童館・幼稚園・大学・少年補導・日本ボーイスカウト協会・民生児童委員協議会・女性会・校長会)	・「山科はぐくみネットワーク実行委員会」親子向け行事の企画・運営	・他団体と連携して行えた。
	山科青少年活動センター	・育成団体として登録。スポーツ室の利用をする。	・中高生向けの取り組みについて意見交換をしていきたい。
	NPO法人　山科醍醐こどものひろば	・おたよりや情報の交換	・利用者は子どもの年齢によってひろばと児童館をうまく使い分けている。
	山階児童館・山科商店会・山科図書館・やましな学園・山科青少年活動センター・山科区社協・山階学区自治連合会・安朱学区自治連合会	・地域のまつり「ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科」の共催	・情報交換をおこなった。 ・新型コロナウイルス感染症流行状況により、「ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科」を中止した。

令和4（ 2022 ）年度　児童館事業年間活動報告書　（ 山階 ）児童館

地域福祉促進機能

基本活動

(4)児童館を支える地域組織作り

組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
山階ホッとサロン	山階学区民生児童委員協議会	じゃがいも掘り、さつまいも掘り	山階学区ホッとサロンの活動・取組の進め方について	民生児童委員さんと山階学区の子育ての情報共有の機会となった。
山階学区子育てネットワーク連絡会	山階自治連・山階学区社協・少年補導協議会山階支部・山階民生児童委員協議会・山階小学校・山科青少年活動センター・山科幼稚園	年3回　5月・11月・2月	子育て支援ステーション事業と山階学区の子育て支援状況の共有	地域で子どもを見守る組織作りとなった。
安朱ティーカップサロン	安朱学区民生児童委員協議会	年3回　5月・10月・2月	安朱学区のサロンの活動・取組の進め方について	民生児童委員さんと安朱学区の子育ての情報共有の機会となった。
カンファレンス	はぐくみ室・株式会社アップル・児童相談所・山科青少年活動センター・山階民生児童委員協議会・鏡山保育所	年１回程度	支援が必要なご家庭の情報共有と対応について	地域の人・施設が連携して見守りができる関係性づくりになっている。

推進活動

(5)地域への施設提供

会場提供・備品貸出等	使　用　目　的	提供先（団体・機関等）	成果と課題

(6)地域調査活動

調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
児童館利用者共通アンケート	児童館改善対策	幼児クラブ登録者/学童クラブ登録児童/学童クラブ登録児童の保護者/自由来館利用者児童/乳幼児のひろば参加保護者	京都市社会福祉協議会	幼児クラブ取組終了後配布し記入/小学生利用時一度集合させ、その場で記入/配布後後日記入、回収	・社協全館で実施。前年度よりも多くの利用者にアンケートを取ることができた。アンケート結果を今後の事業展開に活かしたい。
ムクムク公演会実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。
子育て講演会「絵本の楽しみ方」実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。
リフレッシュ企画「ペーパークイリング　お花のミニタペストリー」実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。
幼児クラブ年度末アンケート	１年間の振り返り、次年度への意識調査	幼児クラブ登録者	山階児童館	幼児クラブのおわかれ会の日に配布。記入の上、回収。	・幼児クラブの取組内容の感想や意見が聞けた。次年度以降の乳幼児保護者向けの事業展開に活かしたい。

＜様式１０－５＞

令和4 （ 2022 ）年度　　児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書　　（ 山階 ）児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広報活動	じどうかんだより	毎月1回	山階・安朱小学校全校児童と校長・教頭・教務主任・各クラス担任・一般来館者・介助者・ボランティア	学校より児童へ配布 個人配布	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	小学生は親子でおたよりを見て、興味関心のある行事に申込・参加をしている。見やすく分かりやすい紙面づくりを心掛ける。 「乳幼児版」はピンクの用紙に印刷し、「小学生版」との区別しやすいようにしている。 児童館のHPにPDF形式で掲載している。
	町内会回覧用 じどうかんだより	毎月1回	山階学区・安朱学区内住民	自治連合会を通じて町内回覧	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	多くの地域住民に児童館について、児童館での取り組みや行事について知ってもらう機会になっている。
	山階学区掲示板用ポスター	毎月1回	山階学区内住民	民協を通じて町内掲示板への掲示	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	民協の会議に合わせて発行するようにする。掲載内容を整理して、見やすく分かりやすい紙面づくりをする。
	ラクト地下通路掲示板	常時	地域住民	ラクト地下通路掲示板への事業案内掲示	毎月の各行事の案内・参加募集・子どもの作品等	定期的に掲示物を貼り替えることで、掲示板を見て事業を知り、参加へとつながっている。児童館の取り組みや事業をアピールできる場として定着している。
	くまさんクラブだより （登録制幼児クラブおたより）	年11回	くまさんクラブ登録者	幼児クラブ受付にて配布	月々の行事予定、次回の取組内容、子どもの発達や子育てに関する情報等	受け取った利用者はしっかり読んでいる。子どもたちの活動の様子写真を入れることで、欠席した時にもどんな活動をしたのか分かるようにした。
	幼児クラブ冊子	年１回	幼児クラブ登録者	はじめの会にて個人配布	幼児クラブについての説明、年間スケジュール、グループ分け等	毎年はじめの会にて冊子を見ながら説明をしている。年間予定も載せているのでみなさん目を通してくださる。
	さんかいじどうかん利用案内 （児童館パンフレット）	年１回	一般利用者・安祥寺中学校　等	個人配布	児童館の利用案内　等	社協の統一様式で作成。
	ホームページ活用	随時	一般利用者　等	児童館ホームページにて	児童館の利用案内、行事予定　等	児童館の取り組みの紹介、じどうかんだよりなどを随時更新するようにした。ホームページを見て来館したという声もあり、利用につながっている。
	山階小学校・安朱小学校への掲示	毎月１回	山階・安朱小学校全校児童	学校掲示板にて児童向けの事業案内掲示	毎月の行事予定・参加募集案内	掲載する内容を整理して、見やすい構成になるようにした。
	山階児童館広場前掲示板	毎月１回	近隣住民	掲示板に掲示	児童館の活動の様子を紹介	掲示板前で立ち止まり、見てくださる方が増えた。児童館の活動の様子を住民の方に知ってもらう機会になった。
	Instagram活用	週に3～４回	一般利用者等	Instagramにて	児童館の活動の様子や広報、家で楽しめる遊びや工作の紹介	日々の児童館の様子を伝えることができ、児童館利用の促進につながっている。